

九月定例岡山県議会は十一日に開会し、二十九日まで、十九日の日程で開かれました。

日本共産党県議団は、森脇ひさき県議が一般質問、武田英夫県議が討論に立ちました。詳細はホームページをご覧ください。



県政は、国の悪政から住民を守る防波堤となれ

森脇ひさき県議が一般質問

森脇県議は、いま地方自治体には、国の悪政から住民を守る防波堤としての役割が強く求められているとして、高齢者への増税について、①小泉内閣のこの税制改革によって県税収入はどれだけ増えるか、②高齢者からの税収増分は、医療や介護制度の改定で負担増となった低所得者の負担軽減のために使うべきではないか、③関連して、大企業への制度減税による県税の減収はどのくらいになるか、と質しました。

される単県医療費公費負担制度の見直し、特に心身障害者医療費への自己負担導入については「一時凍結せよ」と求めました。保健福祉部長は、県としていずれの要望にも応える意思がないことを表明しました。

森脇県議は、雇用問題について、県の優遇制度を受けて立地する企業にも地元雇用と正規雇用の拡大を条件にすることを求めましたが、知事は、立地企業に対して「要望はするが、条件とすることは好ましくない」と考えていることを明らかにしました。

森脇県議はまた、偽装請負など派遣・業務請負での違法労働が大きな社会問題になっており、県としても実態を調査する必要があるのではないかと、県下の派遣事業所、請け負い事業所で、昨年どのくらいの違法行為があったのかを質しました。産業労働部長は、岡山労働局が昨年度に抽出調査をおこなった数字として、六十六事業所のうち二十八事業所には正指導をおこなっていることを明らかにしました。

小規模作業所への補助を実施した都府県

(06年6月・きょうざれん調査)



岡山労働局が昨年度に抽出調査をおこなった数字として、六十六事業所のうち二十八事業所には正指導をおこなっていることを明らかにしました。

8月1日 県民要求実現へ、政府交渉

党員議団は八月一日、中林よし子元衆院議員、植本かんじ県書記長(参院選挙区予定候補)、県下の地方議員・候補者とともに、県民から寄せられた要求を携えて政府交渉をおこないました。

市)のバリアフリー化について、「来年度の整備計画として予算確保に努力する」との回答を得ました。厚生労働省には、在宅酸素療法患者の医療費負担軽減策を講じることなど十二項目を要望。

農林水産省には、住民運動になっている足守川パイプライン化事業の中止、重油高騰により深刻な影響を受けているハウス農家の救済策を実施するよう要望しました。文科科学省には、私学助成の増額、授業料減免制度への国の支援策の充実などを求めました。

でも求めてきたJR高島駅(岡山



自民党が教育基本法の改悪求める意見書を強行

4回目

同意見書は、政府提出の改悪案について、「国を愛する態度を、国を愛する心」に修正することや「宗教的情操の涵養(かんよう)」を盛り込むこと、さらに「教育は不当な支配に服することなく」を削除すること求めています。

この三点は、国会に提出されている法案をより悪くするものであり、そのことは、公明党でさえ賛同することを見合わせたこととで明らかです。

県議会文教委員会では、自民党の委員から「この意見書は安倍新内閣の誕生の時期だからこそ実現した」との発言がありました。安倍内閣の危険な本質を自ら告白したものです。

教育基本法の実施を妨害し続け、今日の教育の荒廃を招いたのは自民党政治です。その責任を逆に教育基本法とその完全実施を求める教師や国民に押し付けるなど言語道断です。

日本共産党は、「国策に従う」教育が子ども達におしつけられることがないよう、国民のみならずとも頑張り抜く決意です。



教育基本法改悪、「衛謀罪」国民投票法案

9月26日、岡山市内でおこなわれた教育基本法改悪反対のデモ行進

日本共産党が実施しているアンケート活動にご協力をお願いします



自民党の「教育基本法案早期成立を求める意見書」は不採択を

武田英夫県議が反対討論

討論に立った武田英夫県議は、多くの障害者団体から寄せられた社会保障の負担増撤回を求める陳情について、この二月議会で強行された「単県医療費公費負担制度の見直し」がこの十月から実施されることにより、障害者の方々にとって国の負担増から県民の命と健康を守る「いのち綱」がなくなることは重大だと指摘。まず県議会がこの陳情を採択し、県に早急な見直しを求めることを強く求めました。

県立大学と県立病院の独立行政法人化に関わる議案については、国の関係で既に独立法人化されている岡山大学や国立病院では、「試験・研究の予算削減」や「労働条件の悪

化」が起きているという自らが起こった調査結果を明らかにし、「反対」を表明しました。岡山市と瀬戸町、建部町の合併の議案について、武田県議は、この間の急速な合併によって、旗を振った県民局や首長、賛成議員の思惑とは逆に様々な不安や苦渋の声も広がっている現実を指摘するとともに、この岡山の未来をどう切り開くかについて地に足を着けた落ち着いた議論が何よりも肝心であることを指摘し、「反対」の立場を明らかにしました。

「県議会議員の費用弁償」に関する陳情については、今年四月に県議団が発表した「議員自らの『税金の使い方』を厳格に」

という提案を紹介しつつ、本陳情は、県議会議員の費用弁償が実態と大きくかけ離れていることを指摘し、少なくとも実態に沿った見直しを求めているものであり「採択」を強く求めました。

最後に、自民党県議団から提出されている「教育基本法案の早期成立を求める意見書案」について、これは、県議会がこの間三度にわたり提出してきたどの意見書よりも常軌を逸した内容であり、現在国会に提出されている法案よりも悪質で、先般東京地裁が下した「国旗・国歌強制違憲判決」の判決内容にも反することを指摘し、県議会として提出しないことを強く求めました。



富山県を視察して……

赤坂てる子

十月から、岡山県の重度心身障害者の医療費公費負担制度に一部負担導入などを内容とする改悪がいよいよ実施されました。

九月下旬になって、腎臓透析患者Aさんに通院負担限度額一万二千円の通知が届きました。また、障害のあるお母さんを介護しているTさんには、通院四万四千四百円、入院八万円の限度額が届きました。自立支援法による負担増と重なり障害者の命にかかわる事態が心配されます。

私は、九月議会開会中に富山県を視察しました。富山県は、知事の「単県医療費の見直し」提案を六度も断念させたことで全国でも注目されています。障害一・二級で所得制限は一千

万円以下であり、六十五歳以上では障害四級までが所得にかかわらず自己負担ゼロで、さらに障害六級までは一部負担を軽減しています。障害者の対象の広さは全国トップの助成水準です。私は、改めて、岡山県の冷たさに怒りを感じるとともに、自治体の姿勢によって命の格差が生まれていることを痛感しました。十月実施を前にした九月定例議会には、障害者団体からの「実施の延期」を求める陳情が何通も提出されましたが、過半数の市町村議会で「見直し撤回」を求める意見書が採択され、倉敷市、美作市、美咲町、早島町が独自に負担軽減策を決めました。こうした声と運動を大きく広げ、障害者の命綱を守るために全力をあげる決意です。

主な議案の結果

【議案・発議】	共産	自民	民県	公明	結果
県立大学と県立病院の独立行政法人化	×	○	○	○	○
岡山市と瀬戸町、建部町の合併に関する議案	×	○	○	○	○
認定こども園条例	×	○	○	○	○
教育基本法案の早期成立を求める意見書案（自民党発議）	×	○	×	×	○

※ ○賛成、×反対

9月定例県議会には、26議案と4発議、2人事案件が提出されました。日本共産党は、10議案と1発議に反対、残りの議案に賛成しました。他の会派は教育基本法に関わる二つの発議で態度が割れた他は、全ての議案に賛成しました。

【請願・陳情】	共産	自民	民県	公明	結果
障害者、難病患者に対する医療・福祉施策の充実を求める（岡山県難病団体連絡協議会）	○	△	△	○	△
「単県医療費公費負担制度」の実施延期を求める（岡山県腎臓病協議会）	○	×	△	○	×
心身障害者医療費公費負担制度の改正実施を延期することを求める（障害者の生活と権利を守る岡山県連絡協議会）	○	×	△	△	×
障害者自立支援法による利用料と授産施設利用料負担の減免を求める（障害者の生活と権利を守る岡山県連絡協議会）	○	×	△	△	×
岡山県議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例第三条3項の改正を求める（市民オンプスマン岡山）	○	△	△	△	△
看護師確保対策強化を求める（岡山県医療労働組合連合会）	○	×	×	×	×
岡山県労働委員会労働者委員の「連合」独立選任をやめ、公正な任命を行うことを求める県議会議決を求める（岡山県労働組合会議）	○	×	×	×	×

※ ○採択、×不採択

活動日誌

6月定例県議会以降、党県議団は、以下のような活動に取り組んできました。

- 7月28日 原油高騰問題で、加温栽培農家と県に申し入れ（写真上）
- 8月1日 県民要求をとりまとめ、国の各省庁と交渉
- 8月18日 9月定例県議会にむけ、民主的な諸団体との懇談会を開催
- 8月30日 社会保障制度「改正」の10月実施「凍結」を求め、県に申し入れ（写真中）
- 8月31日 党中央発表の『緊急要求』を踏まえ、介護保険問題で県に申し入れ
- 9月15日 社会保障制度「改正」の10月実施に関する緊急懇談会を開催（写真下）
- 9月25日 災害による被災者支援対策に関し、県に申し入れ



2006年10～12月の議会日程（予定） —— 委員会の積極的な視聴を ——

10月13日(金)	各常任委員会	10時30分～	全員
10月25日(水)	各常任委員会	10時30分～	全員
11月15日(水)	各常任委員会	10時30分～	全員
11月22日(火)	各常任委員会	10時30分～	全員
11月24日(木)	決算特別委員会	10時30分～	武田
	地域振興特別委員会	13時～	
	環境・危機管理対策特別委員会	13時～	
	次世代育成・男女共同参画特別委員会	10時30分～	森脇
11月27日(日)	行財政改革等特別委員会	10時30分～	赤坂
	議会運営委員会	10時30分～	武田
12月18日(月)	決算特別委員会	10時30分～	武田
	地域振興特別委員会	13時～	
	環境・危機管理対策特別委員会	13時～	
	次世代育成・男女共同参画特別委員会	10時30分～	森脇
12月19日(火)	行財政改革等特別委員会	10時30分～	赤坂
	各常任委員会	10時30分～	全員
12月21日(木)	議会運営委員会	10時30分～	武田

12月定例県議会は、12月4日開会、12月22日閉会の予定。代表質問は7・8日、一般質問は12・13・14日の予定。日本共産党からは、森脇ひさき県議と赤坂てる子県議が一般質問、武田英夫県議が討論に立つ予定です。なお、請願・陳情の受付締め切りは12月6日です。